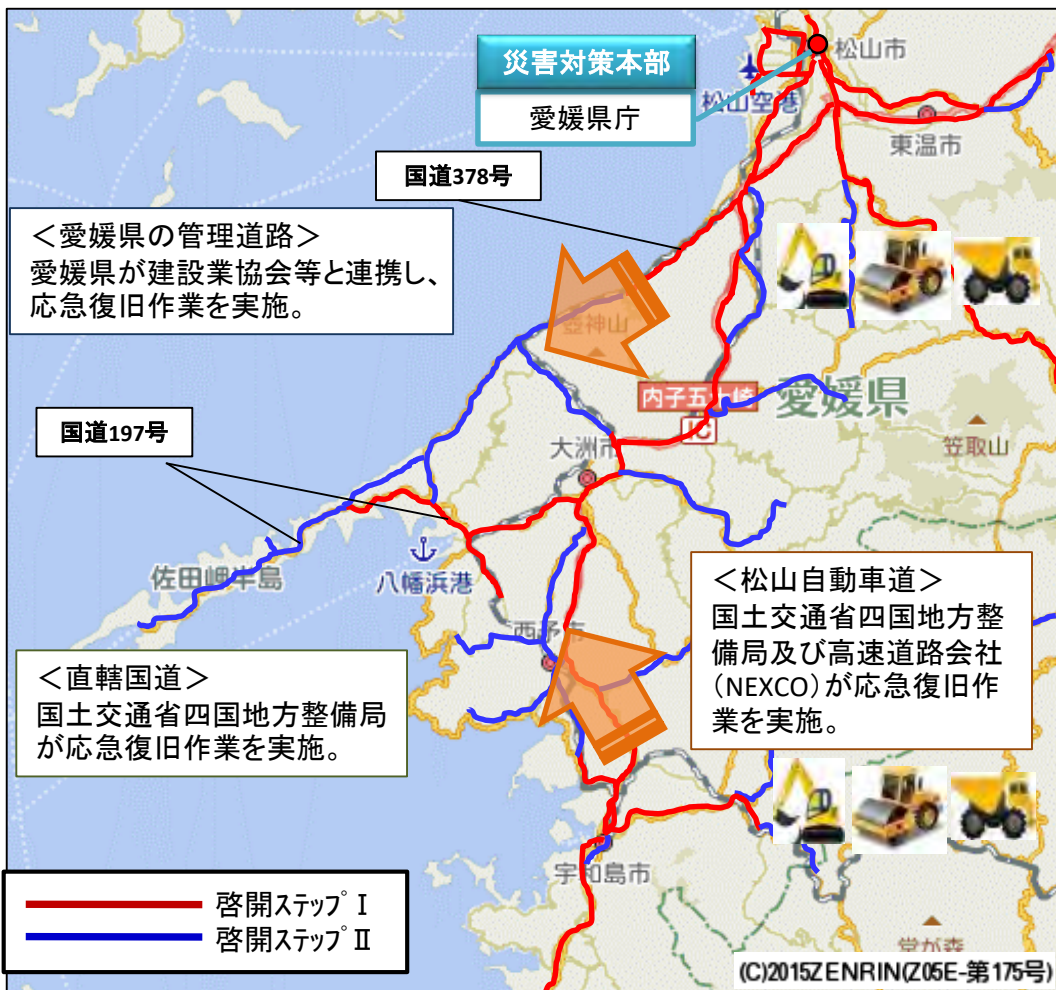


自然災害等により道路等が通行不能になった場合の復旧策

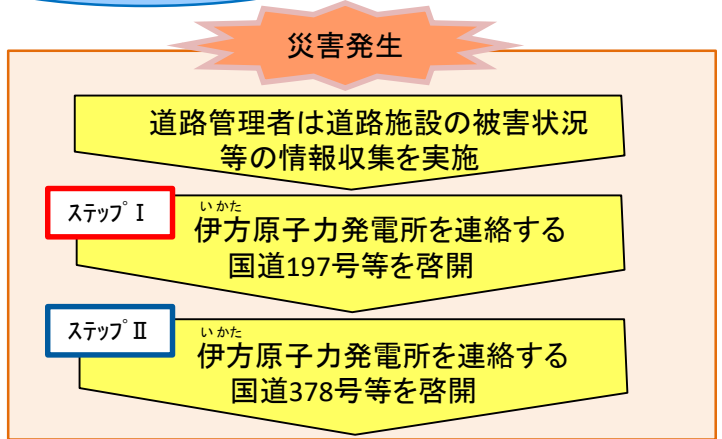
避難開始前の段階において、避難計画で避難経路として定められている道路等が自然災害等により使用出来ない場合は、愛媛県、伊方町いかたちょうは、代替経路を設定するとともに、道路等の管理者は復旧作業を実施。

- ▶ 「愛媛県道路啓開計画」の啓開優先順位(ステップⅠ～Ⅲ)に基づき道路啓開を行い、緊急輸送道路の確保を行う。
- ▶ 直轄国道及び高速道路については、国土交通省四国地方整備局及び高速道路会社(NEXCO)が早急に被害状況を把握し、迅速かつ的確な道路啓開、仮設等の応急復旧を行い、早期の道路交通の確保等に努める。



愛媛県道路啓開計画

各管理者が道路啓開等を実施



4. PAZ圏の全面緊急事態 における対応

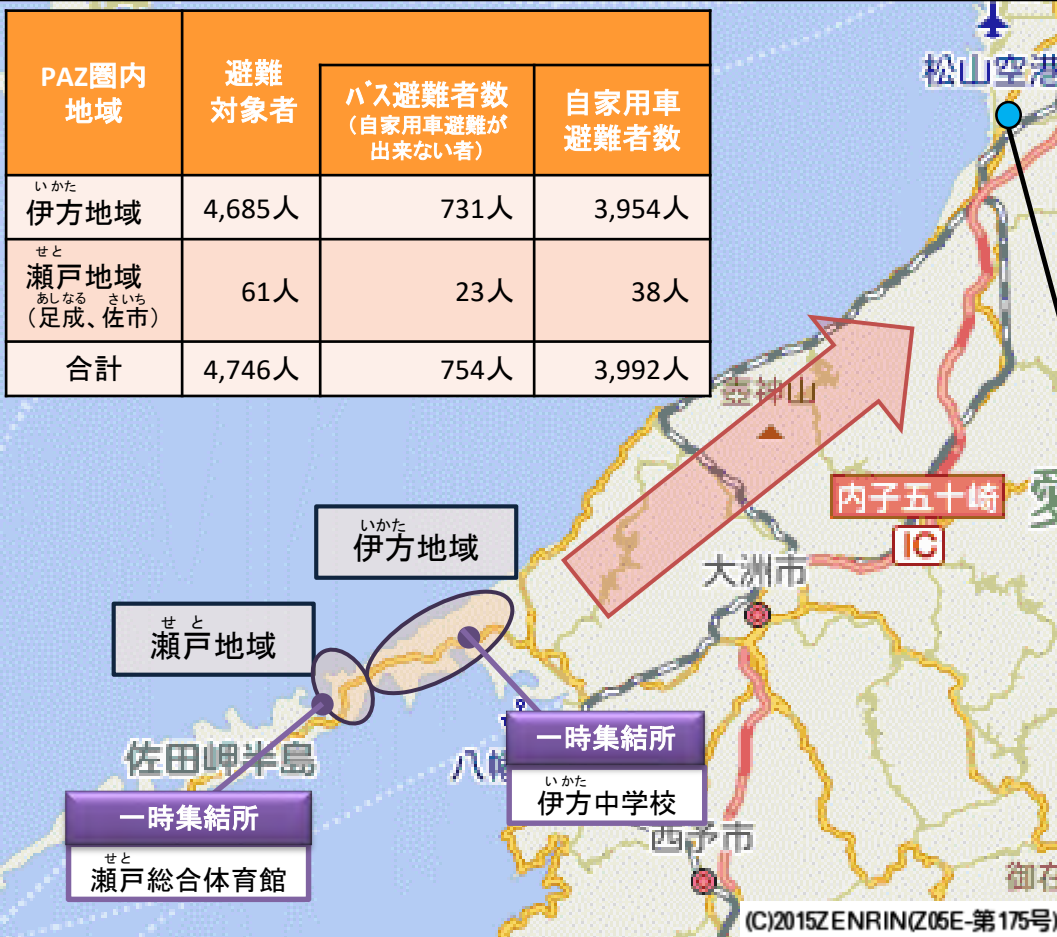
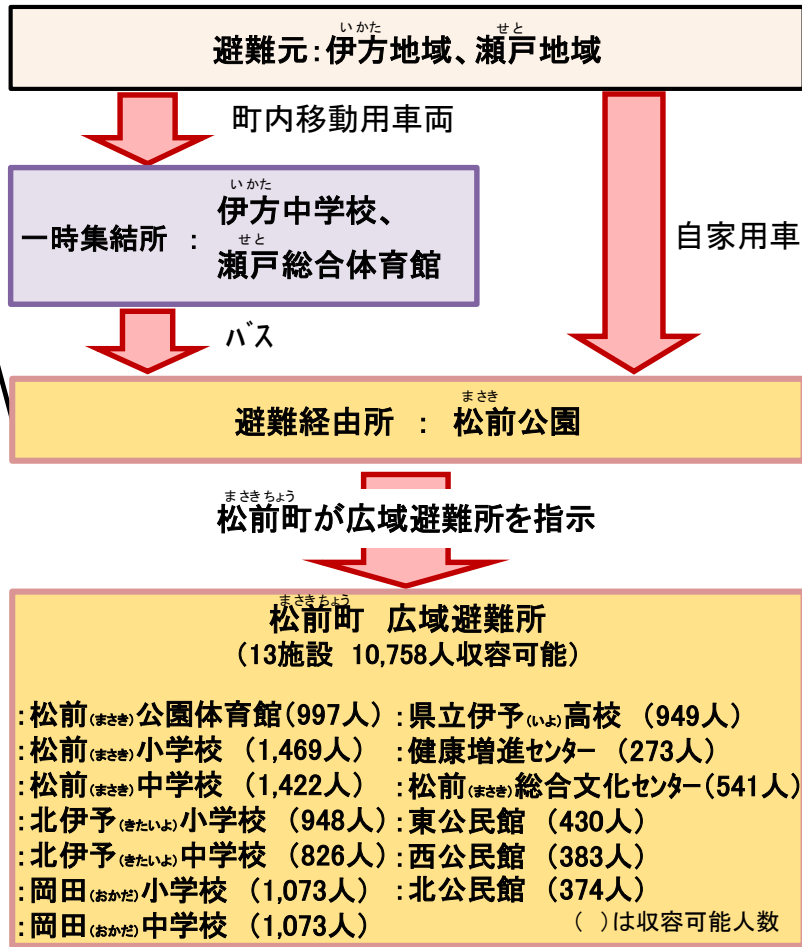
＜対応のポイント＞

1. 自家用車による避難ができない住民の移動手段(バス等)を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先施設の受入れ体制を整えること。
3. 安定剤素剤を持っていない者(紛失等)に、緊急配布すること。

PAZ圏内の住民の避難先及び避難住民数

- PAZ圏内(伊方地域、瀬戸地域(佐市、足成))の住民については、自家用車での避難できる住民は、自家用車により松前町の避難経由所(松前公園)に移動後、松前町の指示する広域避難所に避難。
- 自家用車での避難が困難な住民は、町又は県が配車した町内移動用車両で一時集結所(伊方中学校、瀬戸総合体育館)に集合し、避難経由所(松前公園)へバスで移動のうえ、松前町の指示する広域避難所に避難。
- 避難先については、避難計画に関する住民説明会等を通じて対象となる住民に周知。

PAZ圏内地域	避難対象者	バス避難者数 (自家用車避難が出来ない者)	自家用車避難者数
伊方地域	4,685人	731人	3,954人
瀬戸地域 (足成、佐市)	61人	23人	38人
合計	4,746人	754人	3,992人



※1避難対象者数は、PAZ圏内住民の合計数から割り出した数字であり、若干の増減がある。
 ※2自然災害等により松前町の避難先が使用できない場合に備え、第2避難先候補として今治市と上島町を設定。

- PAZ圏内の観光施設における1日当たりの入場見込み人数は約910人、民間企業(従業員30人以上)は6社(約220人)存在。

PAZ圏内の観光施設の状況

地域名	施設数	入場見込人数
<small>いかた</small> 伊方地域	7	912人程度
<small>せと あしなる さいち</small> 瀬戸地域(足成、佐市)	0	0人
合計(7施設)		912人程度

※入場見込人数については、入場ピーク時(8月)における1日当たりの入場者数を基に算定

観光施設における入場見込人数:平成26年実績

PAZ圏内の民間企業(従業員30名以上)の状況(詳細)

地域名	民間企業名	従業員数
<small>いかた</small> 伊方地域	西宇和(農協)伊方支店	49人
	伊方建設(有)	32人
	(株)ヒサン水産伊方工場	32人
	(株)みさき果樹園	36人
	(有)町見緑化	33人
	伊方サービス(株)	33人
<small>せと あしなる さいち</small> 瀬戸地域(足成、佐市)	該当なし	0人
合計(6社)		215人

※従業員については、通勤に使用する自家用車、バスで避難

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、合計約850人分：バス19台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知（施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅）。

	想定対象人数※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	754人	17台	一時集結所にて乗車 1台当り46人程度の乗車を想定 【資料P31】
観光施設から避難する一時滞在者	91人	2台	バス1台当り46人程度の乗車を想定 1日あたりの観光施設の入場見込み人数912人程度のうち、約9割が自家用車や観光バスで来場する想定で、その1割を想定対象人数として算入。【資料P32】
合計	845人	19台	

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者のために、愛媛県のPAZ・UPZ圏内市町のバス会社が保有する車両のほか、伊方町いかたちょうが保有する車両、四国電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、愛媛県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		19台	
(B) 確保車両台数		計19台以上	
確保先	愛媛県のPAZ・UPZ圏内市町のバス会社	16台以上	愛媛県のPAZ・UPZ圏内市町のバス会社が保有する車両総数262台
	<small>いかたちょう</small> 伊方町	3台程度	<small>いかたちょう</small> 伊方町が保有する車両10台(合計138人)の車両を使用

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請

自家用車で避難できない住民の数及び一時集結所への順路等

- 伊方町による全戸訪問調査の結果、PAZ圏内の自家用車で避難できない住民は合計約750人。
- 自家用車で松前町の避難経路所(松前公園)へ避難が困難な住民は、徒歩で各集会所等に集合し、伊方町又は県が配車した町内移動車両で、各一時集結所(伊方中学校、瀬戸総合体育館)へ移動。



各集会所の配車経路 ※()は自家用車で避難できない住民数		一時集結所
ルート①	おおはま 大浜集会所 → なののはま 中之浜集会所 → 仁たのはま 仁田の浜集会所	(95人)
ルート②	とよのうら 豊之浦集会所 → しんかわ 新川会館 → かわながた 川永田コミュニティセンター → なかうら 中浦集会所	(161人)
ルート③	いかたごし 伊方越集会所 → かめうら 亀浦集会所	(32人)
ルート④	たのうら 田之浦集会所 → ふるやしき 古屋敷地区 → ふたみ 二見公民館 → ふたみ 二見集会所 → にしくぼ 西久保集会所 → すか 須賀集会所 → はた 畑コミュニティセンター → むかい 向集会所 → おく 奥集会所	(201人)
ルート⑤	とりづ 鳥津集会所 → おおなる 大成集会所	(44人)
	いかた 伊方中学校に徒歩で移動する住民(河内、湊浦一・二、小中浦)	(198人)

各集会所の配車経路 ※()は自家用車で避難できない住民数		一時集結所
ルート⑥	あしなる 足成集会所 → さいち 佐市集会所 → たこら 高浦地区区長宅※	(23人)

※高浦(たこら)地区区長宅は予防避難エリアに位置するため、上表の人数の積算対象外